

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	森田 幸一議員	1 市長の選挙公約について	<p>市長は選挙において市民目線の公約を多く掲げた。特に「子ども医療費無償化を高校生まで拡充します」、「段階的に給食費無償化を実現します」、「地域資源を活用したブランド化・六次産業を強化します」、「都市交流を加速させ多くの人に来てもらう」、「地域防災を推進し、各校区コミュニティを支援します」とのことについて、市長は、この公約をどのように取り入れて政策を進める考えなのか伺う。</p> <p>(1) 子ども医療費無償化を高校生まで拡充することについて ア 昨年の12月議会で提案し可決したが、対象児童・生徒数と予算額及び一般財源の持ち出し及び実施時期と周知方法について伺う。</p> <p>(2) 給食費の無償化の実現について ア 令和6年4月1日時点の対象児童・生徒数と給食費の金額について伺う。 イ 給食費無償化を進める意図や背景について伺う。 ウ 給食費無償化に向けて、どのような段階的な計画を検討しているのか。具体的な財源確保及び目標について伺う。 エ 給食無償化を実現した場合、市民生活や教育環境にどのような効果を見込んでいるのか伺う。</p>	市長 教育長	

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	森田 幸一議員		<p>(3) 地域資源を活用したブランド化・六次産業の強化について</p> <p>ア 現在の、地域資源を活用したブランド化及び六次産業の取組状況の具体例について伺う。</p> <p>イ 今後、地域資源を活用したブランド化を進めるにあたり、具体的にどのような地域資源を対象とし、どのようなブランド化を目指すのか。また、六次産業の強化に向けて今後どのような計画・支援策があるのか伺う。</p> <p>ウ 地域資源や六次産業の推進において、地元の農業者や企業などの関係者との連携が重要と考えるが、どのような協力体制を構築していくのか伺う。</p> <p>(4) 都市交流を加速させ多くの人に来てもらうことについて</p> <p>ア これまで移住・定住促進や都市交流に関して、一定の取組が行われてきたが、現時点での本市の取組状況をどのように分析しているのか伺う。</p> <p>イ 都市との交流を盛んにし連携強化すると掲げているが、具体的にどのような交流事業を想定するのか。また、どのような自治体や関係機関との連携を想定しているのか伺う。</p> <p>ウ 移住・定住や都市交流を促進する中で、予算や人材の確保、受入体制の整備の課題についてどのような対応策を講じるのか伺う。</p>		

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	森田 幸一議員		<p>(5) 地域防災を推進し、各校区コミュニティを支援することについて</p> <p>ア 現時点での地域防災計画の進捗状況について伺う。</p> <p>イ 公約に掲げた「地域防災を推進」する及び「各校区コミュニティを支援」する具体的な施策・支援策について</p> <p>ウ これまで取り組んできたことと比較して、今回の計画とでは、どの点が新しくどのような改善が期待されるのか。これまでの政策と今回の公約との違いは何か伺う。</p>		

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	緒方 重則議員	<p>1 広報紙の発行について</p> <p>2 交通網の整備について</p>	<p>毎月2回発行される広報紙「広報いさ」の今後の取組について考えを伺う。</p> <p>(1) ホームページやテレビ・メール発信による広報と紙面による広報紙の発行により、市民への周知が十分できているか、考えを伺う。</p> <p>(2) 広報紙の発行は月1回でもいいのではないかと、との意見もあるが考えを伺う。</p> <p>インフラ整備における道路の現状及び中長期にわたる考えを伺う。</p> <p>(1) 国道447号線 青木地区と宮崎県えびの市真幸地区間の「真幸トンネル」工事の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 「真幸トンネル」開通後の市民生活や経済活動への影響についてどのような考えか伺う。</p> <p>(3) 国道268号線 山野地区と熊本県水俣市との県境は積雪や凍結など天候の影響で通行止めなど移動の弊害となる。また、国道3号線や九州自動車道に支障が起きたときは、迂回道路として交通量が増す重要な路線である。整備促進の考えはないか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	有郷 豊喜議員	<p>1 農業就業者減少への対策について</p> <p>2 市道整備事業十曾線について</p>	<p>(1) 認定新規就農者の直近の現状は。</p> <p>(2) 基幹的農業従事者年齢別割合について伺う。</p> <p>(3) 地域計画を踏まえた新たな大区画圃場整備事業への推進について伺う。</p> <p>(1) 第1期事業の道路整備状況は。</p> <p>(2) 第2期事業の事業計画は。</p> <p>(3) 防災減災を踏まえたダム管理道路整備の取組について伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	武本 進一議員	1 エンディングノートについて	<p>(1) 終活支援におけるエンディングノートの役割をどのように認識しているか。</p> <p>(2) 本市としてエンディングノートの普及に取り組んでみてはどうか。</p> <p>(3) 市民にエンディングノートを知ってもらうために ア 配布方法についての考えを伺う。 イ 市の広報などで周知することが必要と考える。見解を伺う。</p> <p>(4) エンディングノートに広告を載せることで、市の負担を軽減できる仕組みがある。見解を伺う。</p> <p>(5) この取組について市長の考えを伺う。</p>	市長	
		2 民生委員の成り手不足の解消を	<p>(1) 民生委員がいない自治会があるが、この現状についてどのように分析しているか。</p> <p>(2) これまでも成り手確保のために自治会長と連携してお願いに回ったり、関連する会合等で協議をして協力を求めたりするなど、努力をしてきたものと認識している。そこで、市民の皆様に民生委員の具体的な仕事の内容をより理解してもらえるように、周知をさらに拡大してはどうか。</p> <p>(3) 今後、ますます民生委員は必要になってくると思う。成り手不足を解消するための解決策を伺う。</p>	市長	

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	楠元 彩子議員	<p>1 教育日本一について</p> <p>2 伊佐市の支援教育の実態について</p> <p>3 地方創生について</p>	<p>(1) 市長が掲げる「教育日本一」とは何か、現時点での考えを伺う。</p> <p>(2) 伊佐の教育を客観的に観てどう受け止めているのか伺う。</p> <p>(3) 各種検定の助成金について ア 現在、助成を行っている各種検定の種類を伺う。 イ 市内小・中学校での利用率を伺う。</p> <p>(1) 市内で支援学級に通う割合が高い実態をどう捉えているのか伺う。</p> <p>(1) 過去10年間の伊佐市の取組と成果について伺う。 ア 10年間で地方創生資金としていくら交付されたのか伺う。 イ その資金はどのようなことに使われたのか具体的に示せ。 ウ その成果と課題について伺う。 エ 地方創生2.0の公募に対し、認定申請するのか伺う。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長 教育長</p> <p>市長</p>	

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	今村 謙作議員	1 市内に増加する空き家の有効活用について	<p>(1) これまでも空き家対策の一環として、資源としての有効活用を図るために空き家バンクの導入を行っているが、現在の運用における一連の流れと実績について示せ。</p> <p>(2) 空き家バンクを運用する上で、さらなる活用を促すためには、どのようなことが課題として挙げられるのか。</p> <p>(3) 空き家活用の対策として、空き家バンクも含めて今後どのような取組が必要となるのか考えを示せ。</p>	市長	

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	星野 元興議員	<p>1 伊佐市新庁舎建設工事・大口ふれあいセンター大規模改修工事安全祈願祭について</p> <p>2 伊佐市奨学生について</p>	<p>(1) 1月29日に伊佐市新庁舎建設工事・大口ふれあいセンター大規模改修工事安全祈願祭が特定の宗教儀礼により実施された。市民が、個々に様々な信仰を持つ中、特定宗教による安全祈願祭が行われた経緯を伺う。</p> <p>(2) 公共施設工事において、特定の宗教による安全祈願祭が実施されたことについて、発注者である市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 令和5年度より、卒業後、伊佐市に住民登録し就労することにより奨学金の返還が免除されている伊佐市奨学生制度であるが、令和5年度以降の奨学生数を伺う。</p> <p>(2) 応募資格に「経済的理由により修学困難と認められる者」とある。その基準を伺う。</p> <p>(3) 返還免除要件の中に「官公署への就業を除く」とある。その理由を伺う。</p> <p>(4) 伊佐市に住民登録せずとも「ふるさと納税などによる伊佐市への貢献」などを理由に返還を免除する要件があってもよいと考えるが、教育長の見解を伺う。</p>	<p>市長</p> <p>教育長 市長</p>	

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	奥 浩一議員	1 水田対策、活用について	<p>(1) 米価の安定した適正価格が望まれるが、何か取組をされているのか。</p> <p>(2) 2027年度から変わる、農林水産省の水田対策について、市の考え方を伺う。</p> <p>(3) 水田活用の直接支払交付金の産地交付金について ア 交付金の算出時期、方法と令和5・6年度の作物ごと分配金を伺う。 イ 重点野菜の団地加算面積は、他の作物と同じだが、対象面積はどのくらいか。また、団地加算面積の見直しはできないのか。</p>	市長	

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	岩元 努議員	1 新庁舎の利便性向上と魅力化策は	<p>(1) 新庁舎の利便性向上と市民サービスの魅力化について見解を伺う。新庁舎を「市民にとって使いやすく、魅力ある拠点」にするためには、利便性向上の具体策を丁寧に計画・説明することが必要と考える。現時点での具体的な取組について伺う。</p> <p>ア バリアフリー対応・ユニバーサルデザインについて 高齢者や障がい者、子ども連れでも安心して利用できる施設づくりをどのように進めているか。(出入口・エレベーター・トイレ・授乳室等)</p> <p>イ ICTを活用した予約・利用管理システムの導入について 市民窓口の利便性向上を図るため、予約・利用システムの導入は市民サービス向上の大きなポイントと考える。「書かないワンストップ窓口」の導入を進める自治体も増えつつある。本市の取組の現状と今後の計画を示せ。</p> <p>ウ 市民が気軽に利用できる図書施設、フリースペースや多目的スペースの整備について 市内の本屋が閉店し、市民からの図書施設の設置を望む声が多くある。図書施設の設置が、新庁舎の魅力化と市民の集いの場としての役割を果たすと考える。学生が安心して勉強できる空間、親子で楽しめるフリースペースや多目的スペースの具体的な整備内容を示せ。</p>	市長 教育長	

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	岩元 努議員		<p>(2) 会議室・貸室の利用促進とPR策について</p> <p>新庁舎内の会議室や多目的スペースの利用を促進することは、市民や団体の活動支援、地域の賑わい創出の可能性はある。利用率の向上に向けた具体的な取り組みやPR策を示せ。</p> <p>ア 文化活動や趣味サークル、子育てサークルや健康教室など地域コミュニティ活動の場としての活用に加え、地元企業向けの会議、セミナー、商談スペース、テレワーク対応スペース等、ビジネス利用の幅を拡大する考え、取組について見解を示せ。</p> <p>イ オンライン予約・利用管理システムを整備し、空き状況の可視化や予約手続きの簡素化について検討内容を示せ。(例 自治体向け予約システムRESERVA、Airリザーブ、Spacepad)</p> <p>ウ 貸室設備の充実について、プロジェクター・音響機器・ホワイトボード等、会議・セミナーに必要な設備の完備や無料Wi-Fi等、利用者ニーズにあった環境整備の検討状況を示せ。</p> <p>エ PR策は、積極的な周知を図る広報活動も重要であり、市広報媒体の活用はもちろん、ターゲット別プロモーションも検討していく必要があると考えるが、具体的なPR策について見解を伺う。</p>		

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	岩元 努議員		<p>(3) 公共交通機関の利便性向上と環境配慮の取組について伺う。</p> <p>ア バス停移設の検討は、市民の利便性向上に加え、高齢者・障がい者、子ども連れにも大きなメリットがあると考えますが、バス停位置変更についてバス会社と協議する考えはないか見解を伺う。</p> <p>イ 公共交通機関の利用促進策として、市役所職員の利用を推進し、CO2削減を図る取組は、環境配慮型施設のモデルケースとして大きな意味を持つ。利用推進には、奨励制度やインセンティブ制度の導入も検討しつつ、環境負荷軽減に寄与する取組が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>ウ 令和4年6月策定の「伊佐市地球温暖化対策実行計画」に示された、2015年と比べて2030年までに温室効果ガス総排出量46%削減の目標について、計画の実行状況を示せ。</p> <p>エ 環境配慮の観点から伺う。第3節 削減目標達成のための具体的な取り組み、各実行部門での具体的な取組項目では、省エネルギー対策推進として、(1)電気、電気製品、(2)照明、(3)冷暖房、(4)公用車とあるが、削減目標である2030年までの推進策で46%達成は実現可能なのか。課題として達成可能な条件とは何か。</p>		

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	岩元 努議員	2 文化会館の利用について	<p>(4) 音楽活動の場の確保について 新庁舎には専用の音楽練習スペースや防音施設の配置計画がない。市民が気軽に音楽活動を楽しむことができる利用提供をどのように考えているか。ふれあい講座で行われていた音楽活動の今後の練習場所と、新庁舎完成後の貸館利用について見解を示せ。</p> <p>(1) 文化会館の運用計画について、具体計画を示せ。文化会館利用と更新計画の中長期計画を示せ。</p> <p>(2) 大型楽器は個人保管が難しく、暫定的な施設利用では練習環境の不便さを感じる場面が多い状況である。保管場所確保の具体策の提案として、会館内の建物スペースを利用した保管用レンタルスペースの整備提供は、貸館収入による施設の有効活用という観点からメリットもある。見解を伺う。</p>	市長 教育長	

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち15枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	中村 浩久議員	<p>1 伊佐市の防災体制について</p> <p>2 伊佐市の農業が抱える課題と将来に向けた施策は</p>	<p>(1) 防災無線の戸別受信機である防災ラジオの配付状況と利用方法を伺う。</p> <p>(2) 災害時の避難場所について ア 伊佐市の避難所は何か所あるか。 イ 各避難所における停電時の対策は万全か。 ウ 各避難所における高齢者や障がい者への配慮は。</p> <p>(1) 高齢化や担い手不足の対策は。</p> <p>(2) 耕作放棄地の増加対策は。</p> <p>(3) TPPによる競争激化に向けて ア スマート農業を進める考えはないか。 イ 農地の大規模化についての考えを伺う。 ウ 農産物のブランド化を進める考えはないか。 エ 兼業農家のために行う手立てを伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち16枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	畑中 香子議員	<p>1 国民健康保険について</p> <p>2 庁舎建設について</p>	<p>(1) 国民健康保険税率引き上げの議案が上程されたが、市内国保世帯の暮らしは物価高騰などにより非常に逼迫している。現状に対する認識について伺う。</p> <p>(2) 本市の国民健康保険税は、モデルケースによる比較では鹿児島市よりも高い状況である。さらなる税率引き上げでは負担が重くなりすぎるのではないか。</p> <p>(3) 令和7年度以降の、県による財政安定化基金繰入れについての方針を把握しているか。</p> <p>(4) 国民健康保険税率引き上げではなく、県に対し基金の活用や一般財源からの繰入れを求めるべきではないか。</p> <p>(1) 県のインフレスライド条項の適用対象工事は令和6年3月以前の契約によるものとのことだが、庁舎建設関連工事で該当するものはあるのか。</p> <p>(2) 本体工事の契約額をさらに5,000万円引き上げる議案が上程されたが、その他関連工事で契約額引き上げになるものがあるか。</p> <p>(3) 基本計画に規定してある総事業費の額は。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち17枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	畑中 香子議員	<p>3 再生可能エネルギーの普及促進について</p> <p>4 学童保育について</p>	<p>(1) 日置市は条例制定を行い再生可能エネルギー促進の取組を進めているとのことだが、本市でも条例制定を行う考えはないか。</p> <p>(2) 伊佐盆地を取り囲む3つの風力発電所計画についてどのような段階か。環境破壊や人体への影響などの不安は払拭されたのか。</p> <p>(3) エネルギーの地産地消について、市の考えを伺う。</p> <p>(1) 子どもたちが安心して過ごせる場として学童保育の重要性をどのように認識しているか。</p> <p>(2) 保護者負担の軽減策について拡充を検討するべきではないか。</p> <p>(3) 放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業等の国の事業を取り入れて、処遇改善を行う考えはないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち18枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	庵下 信一議員	<p>1 市長、市議会議員選挙の投票率低下の要因と投票率向上対策について</p> <p>2 鳥獣被害の実態と対策について</p>	<p>(1) 投票率低下について、市長、選挙管理委員会委員長の見解を問う。</p> <p>(2) 前回2020年11月の選挙と今回の選挙の年代別投票率を示せ。</p> <p>(3) 投票率低下要因の分析、検証について伺う。</p> <p>(4) これまでの投票率向上の取組について伺う。</p> <p>(5) 今後の投票率向上に向けた取組について伺う。</p> <p>(1) 伊佐市の鳥獣被害の実態について ア イノシシ、鹿の推定生息数と推定被害額並びにこれらの推定方法について伺う。 イ 鳥獣被害を受けて収穫を前に放棄された圃場面積について伺う。</p> <p>(2) 被害防止対策の現状と課題について伺う。</p> <p>(3) ワイヤメッシュ柵や電柵等、侵入防止柵の市による設置について伺う。</p>	<p>市長 選挙管理委員長</p> <p>市長</p>	

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち19枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	小田原 宏議員	1 横断歩道の標識・交差点名の標識の設置について	<p>(1) 国道268号線沿いを中心に横断歩道の標識がなく、横断歩道自体はあるものの、横断歩道ではない場所を高齢者が横断する事例が多発し、大変危険な状況にある。そこで市街地の国道など幹線道路を中心に、防犯対策も兼ねて、LED点灯型の横断歩道標識の設置を要望しないのか。</p> <p>(2) 伊佐市は他市と比べて、交差点や三差路における交差点名の表示が大変少ないと感じる。主要交差点にきちんと交差点名を表示すれば、交差点名を利用したお店案内や観光案内を行いやすくなるし、またカーナビゲーションシステムにも交差点名が反映されることで道案内も分かりやすくなり、総合的に伊佐の各事業所・観光地案内の充実化に大変寄与すると考える。そこで、次の3点について伺う。</p> <p>ア 伊佐市の主要交差点に交差点名の表示標識（看板）を立てる考えはないか。また、要望しないのか。</p> <p>イ 交差点名は市民の有志によって委員会を立ち上げ、地域の声を酌み取った交差点名を提案できないか。</p> <p>ウ 実際に交差点名の表示標識（看板）を立てるとなった場合、1交差点あたりの費用はどの程度かかることが予想されるか。</p>	市長	

令和7年第1回定例会一般質問

令和7年2月21日・26日・27日

(20枚のうち20枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	小田原 宏議員	<p>2 伊佐市の小中学校のエアコン普及率について</p> <p>3 真幸・青木バイパスの完成後における流通団地や工業団地の整備について</p>	<p>(1) 本市における市立小中学校の教室内の、現在のエアコンの普及率は。</p> <p>(2) 市立小中学校の各体育館においては、エアコンの普及はまだ進んでいないものと思われる。各地域の体育館は災害時の避難所となっている場所もあり、特に体育館内においてはエアコンがないことによる災害関連死（厳冬や酷暑によるもの）を防ぐ意味でも、早急なエアコン設置が望まれる。そこで、次の2点について伺う。 ア 緊急防災・減災事業債を活用し、各体育館にエアコンの設置ができないか。 イ 体育館にエアコンを設置する場合、問題となる点があれば説明せよ。</p> <p>(1) 現在えびの市で掘削中の真幸トンネルの工期が、2028年10月31日までと示された。そこで、次の2点について伺う。 ア 真幸トンネルが完成し、真幸・青木バイパスが完全に完成すると、国道447号線の利用量が飛躍的に増大する。国道268号線と交わる付近の地域を利活用し、交通要衝としての利便性を活かした流通団地や工業団地の造成はできないか。 イ 現時点での、真幸・青木バイパスの完成予定はいつ頃か把握しているか。</p>	<p>教育長 市長</p> <p>市長</p>	